



氷川町のおいしいを発掘

第12回 氷川町特産料理コンクール

10月23日、道の駅竜北 氷川町物産館で第12回氷川町特産料理コンクールがあり、11の団体・個人が参加しました。

このコンクールは、氷川町の特産品を利用してオリジナルの料理を作ってもらったことで、新しい食べ方の提案、地産地消の普及・販路拡大を図ることを目的としているものです。

今回のテーマは、『氷川町の新鮮な特産物を使った加工品』で、料理の部とお菓子の部の2部門。トマトや生姜、梨を使った料理やれんこん、もち粉、晩白柚ジュレを使ったお菓子など13点がならびました。



▲美味しい料理に審査も難航

【料理の部】



【金賞】吉田明日香さん(有佐) トマトとナシのカッテージチーズカレー

【お菓子の部】



【金賞】小島美津留さん(北鹿野) レンコンチーズバー



【銀賞】小島美津留さん(北鹿野) トマトがみそよ!豚肉トマチー巻き



【銀賞】小島美津留さん(北鹿野) レンコンいっパイ



【銅賞】小牟禮彩音さん(西上宮) 熊本のピリッと辛いしょうが姉ちゃんのかたわりカレーパン



【銅賞】 足立愛実さん(八代市) アップルトマトジャム



▲表彰式の様子

道の駅レストランで 商品化決定!!

ーピストログリーン賞受賞作品ー

徳田あけみさん(八代市)の「魚と野菜スープ」の作品がピストログリーン賞に輝きました。この作品は、道の駅物産館レストランにおいて、12月1日(木)から29日(木)まで販売していますので、ぜひご賞味ください。



▲道の駅物産館レストランにお越しください

マラソンを通じての交流

友好町交流事業

10月28日から4日間の日程で友好町である北海道大空町との交流事業が行われ、梨部会からの参加者5人を含む8人が大空町を訪れました。

今年度は、両町共通のイベントであるマラソン大会を通しての交流をテーマとし、大空町の「第33回もこと山ふきおろしマラソン」に参加しました。

「もこと山ふきおろしマラソン」は標高千メートルの藻琴山から標高差678メートルを、秋のオホーツクの爽快な自然の中駆け下るハーフマラソンコースが特徴の大会です。

前日は初雪も降り、少々肌寒さはあるものの、当日は晴天に恵まれ絶好のマラソン日和となりました。全員が5km以上、うち3人はハーフマラソンを走り、ゆるやかな傾斜が延々と続くコースに苦しみながらも、大空町の素晴らしい景色を堪能し、無事完走しました。



▲もう一息、がんばります!

また、梨部会が農業体験学習で生徒の受け入れをしている東藻琴(ひがしもこと)高校を訪問しましたが、昨年氷川町を訪れた生徒たちとの再会もあり、心温まる時間を過ごすことができました。



▲東藻琴高校を訪問しました

今後も事業を通して多くの町民の方と交流を深める場をつくり、友好町として共に支え合い、刺激を受け合う関係を継続していきます。



▲-15℃は濡れタオルも凍ります

歴史と自然を満喫

「道の駅」竜北ウォーキング2016

10月30日、ウォーキングセンターをスタート、ゴールとする「道の駅」竜北ウォーキング2016が開催され、町内外から過去最高となる370人の参加がありました。

コースは、野津古墳群を巡る10.5kmと宇城氷川スマートインターチェンジを巡る5.0kmの2コースが設定されました。参加者たちは掛け声とともに元気にスタートすると、歴史香る古墳群やフルーツロードを巡り、氷川町の秋の景色を楽しみました。



▲秋の美りを感じて

また、昼食では、担い手女性グループにより、豚汁が振る舞われ、参加者たちは氷川町の秋を満喫していました。



▲参加者には特産みかんのお土産



▲大野窟古墳前では古墳の勉強



▲自然いっぱい楽しくウォーキング